

コミュニケーションがより正確になるための取り組み
～朝自習でのプリント学習やパソコンソフトを利用して～

吉川 開

1. はじめに

N子は高等部1年で本校に入学した。N子とかかわっていく中で表情や行動で気持ちが少しずつ分かるようになり教師の意図を伝えられることが増えたが、ことばでコミュニケーションをもつのは難しいと感じられた。されに、手紙を書いて生徒・教師を問わず大量に配ることがN子の毎日の習慣であるが、言葉遣いが正しくなく、書いてある内容が受け取った相手によく伝わらないことがほとんどであった。

そこで、N子が正しい言葉遣いの文章を書くようになることで、N子の気持ちが他者によりわかりやすく伝わり、よりよいコミュニケーションをもつことができるようにならないだろうか考えた。本研究は、現在高等部2年の自閉症と思われるN子について、コミュニケーションがより正確にもてるようになることを目指し試みた、事例研究である。

2. 対象

N子 高等部2年

(1) 実態

①ことばや文字の表記について

- ・生徒や教師に毎日のようにたくさん手紙を書くことが習慣で、返事が来るのを楽しみにしている。内容は、N子が好きな〈モーニング娘。〉や〈ガンバの冒険〉のキャラクターを相手に当てはめたり学校や家でしたことを羅列したりしてあり、受け取った相手は何を伝えたいのかよくわからない。文節の順序も正しくない。(例：そうじにほうそうはおんがくをきれいにしました)まだしていないことを「しました」と書くこともあり(例：運動会実施の数日前に「運動会がありました」と書く)、本当にN子が伝えたいことがよくわからない
- ・日常使う簡単な漢字の読み書きはできる

②表出言語について

- ・日常生活の範囲ではことばで理解できるが、質問に答えることは難しく、分からなくても「はい」と返事する場合がある。ことばよりも表情や行動のほうがN子の気持ちを表していることが多い(例：嫌いな食べ物を目の前にして「嫌いじゃない」と言いながら嫌な顔をする)
- ・掃除の放送をかけるために放送機器のある部屋の鍵を開けてもらうときは「○○先生ー」と叫んでいる。急いで行くと「ここ」と言い鍵穴を指す
- ・友だちが騒ぎ出したり大きな音を立てたりすると「○○君静かにしなさい」と言い、苦手な友だちとかかわると「やめろー、やめてくれー」などと叫んでいる

③性格や行動について

- ・友だちと遊ぶことはほとんどなく、物を渡すなど必要な時以外はあまりかかわらない
- ・女性の教師にくっついていくことがあるが、逆にN子が他者がぶつかったり触れられ

たりすると「ごめん、ごめん」と謝る。触れられるのは好きでない

- ・N子の思いと違うことを他者から指示されると、「ちがう」と言ってしない傾向がある
(例：黄色のサルを作りたいが青を作るよう指示されると、「ちがう、黄色」と言い続け作らない)
- ・性格は明るく活動的で、パラパラのビデオに合わせて踊るなど体を動かすことが好き
- ・休み時間はパソコンをしたりビデオを見たりビデオに合わせて踊ったりしている
- ・学習には落ち着いて集中して取り組むことができる

(2) 検査結果

WISC-Ⅲ (平成16年9月14日実施)

IQ：全検査 (FIQ) 58 言語性 (VIQ) 50 動作性 (PIQ) 75

群指数：言語理解 (VC) 50未満 知覚統合 (PO) 84

注意記憶 (FD) 71 処理速度 (PS) 52

〈絵画完成〉10：2 〈知識〉8：2 〈符号〉8：2 〈類似〉8：6

〈絵画配列〉16：10以上 〈算数〉8：10 〈積木模様〉16：10以上

〈単語〉5：2 〈組合せ〉15：2 〈理解〉5以下 〈記号探し〉5：10

〈数唱〉8：6 〈迷路〉8：6

(3) 親の願い

他者とコミュニケーションをもつことが苦手で、自分の要求を他者に積極的に伝えられるようになってほしい

3. 指導目標

- (1) 手紙や日記で正しい言葉遣いの文を書くようになる
- (2) 著者とのコミュニケーションがより正確にもてるようになる

4. 研究の方法

今年度はN子の個別の自立活動の時間は設定されていないため、登校後授業が始まるまでの間や朝自習プリントなど、短時間だが継続しやすい場面を活用することとした。

(1) 朝自習でプリント学習をする

- ・短時間でできるプリントを用意し、文法の間違いを直す。
- (2) 朝、登校後8時20分まで(約15分間)に、パソコンソフトを使用する
- ・自分の教室で好きなパソコンを使い、ゲーム方式で視覚的に語彙を増やす
- ・N子と著者との気持ちが共有されることでより良いコミュニケーションを図る

5. 評価の観点

- ・手紙の内容が、以前より分かりやすくなったか
- ・著者とのコミュニケーションがより正確にもてるようになったか
(共感関係、動詞や形容詞の語彙理解、要求伝達行動の視点から検討)

6. 現在までの経過

(1) 朝自習でプリント学習をする

- ・プリントの概要：選択方式で正解だと思う方に○をつけるなど、簡単な内容を使用することばを固定することでパターン化する

スモールステップで少しずつ間違いを直していく

①助詞を正しく表記する (図1)

・ → (朝自習がした → 朝自習をした)

N子が毎日よくする行動を用いて文にし提示した。初日は「しない」と言い怒っていたが、次の日からは落ち着いて取り組むようになり、プリントが机の上に置いてあるとすぐに解答していた。問題を並び替えたり「に」と「を」の順序を並び替えるなどし試したが、1週間ほどですぐにできるようになった。「～を」が定着した。

②文節の順番を正しく表記する (図2)

・ を → (した 朝自習。 を → 朝自習をした。)

①で使用した文を利用し、文節でバラバラにし提示した。問題や文節をいろいろ並び替え試したが、1週間ほどですぐにできるようになった。

③今日、明日する(した)時期を正しく表記する (図3)

・ 今日 → 今日 (今日は歯を磨いた → 今日は歯を磨く)

・ 明日 → 明日 (明日はテレビを見た → 明日はテレビを見る)

①や②で使用した文を利用し、「今日は」「明日は」等の時期を表す主語をつけた文を提示した。しかし、提示した文は、今日はでも今日はでも正解となるため、両方を正解とした。N子が混乱するのを避けるため、この朝自習はすぐにやめた。

④昨日、明日する(した)時期を正しく表記する (図4、図5)

・ 昨日 → 昨日 (昨日はパンを食べる → 昨日はパンを食べた)

・ 明日 → 明日 (明日はテレビを見た → 明日はテレビを見る)

③で使用した文を利用し、「昨日は」「明日は」等の時期を表す主語をつけた文を提示した。3週間ほど続けたが、昨日と明日の解答が正解と正反対になるなど、なかなか定着しなかった。そこで、解答例を付けたプリントを用意し、1週間ほど練習した後で元のプリントに戻した。結果、解答例がないプリントでもほぼ正解するようになってきた。

月 日 () 名前	
正しい方に○をつけましょう。	
1 テレビ	<input type="text" value="に"/> <input type="text" value="を"/> 見ました。
2 そうじ	<input type="text" value="に"/> <input type="text" value="を"/> しました。
3 ピアノ	<input type="text" value="に"/> <input type="text" value="を"/> ひきました。
4 ケーキ	<input type="text" value="に"/> <input type="text" value="を"/> 食べました。
5 放送	<input type="text" value="に"/> <input type="text" value="を"/> かけました。
6 歯	<input type="text" value="に"/> <input type="text" value="を"/> みがきました。
7 手紙	<input type="text" value="に"/> <input type="text" value="を"/> 書きました。
8 体育	<input type="text" value="に"/> <input type="text" value="を"/> しました。

図1 朝自習①

月 日 () 名前	
□の中の言葉を、正しいじゆん番にならべかえて書きましょう。	
例:	<input type="text" value="かけました。"/> <input type="text" value="放送を"/> → <input type="text" value="放送を"/> <input type="text" value="かけました。"/>
1	<input type="text" value="みがきました"/> <input type="text" value="歯を"/> → _____
2	<input type="text" value="。"/> <input type="text" value="しました"/> <input type="text" value="体育を"/> → _____
3	<input type="text" value="ひきました"/> <input type="text" value="ピアノを"/> → _____
4	<input type="text" value="テレビを"/> <input type="text" value="。"/> <input type="text" value="見ました"/> → _____
5	<input type="text" value="しました"/> <input type="text" value="そうじを"/> → _____
6	<input type="text" value="手紙を"/> <input type="text" value="。"/> <input type="text" value="書きました"/> → _____
7	<input type="text" value="。"/> <input type="text" value="食べました"/> <input type="text" value="ケーキを"/> → _____
8	<input type="text" value="作業を"/> <input type="text" value="。"/> <input type="text" value="しました"/> → _____

図2 朝自習②

月 日 () 名前	
正しい方に○をつけましょう。	
1	昨日は、テレビを見ま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
2	今日は、そうじをしま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
3	今日は、ピアノを弾きま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
4	昨日は、ケーキを食べま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
5	昨日は、放送をかけま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
6	今日は、歯をみがきま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
7	昨日は、手紙を書きま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
8	今日は、体育をしま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。

図3 朝自習③

月 日 () 名前	
正しい方に○をつけましょう。	
1	明日は、テレビを見ま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
2	明日は、そうじをしま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
3	明日は、ピアノを弾きま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
4	昨日は、ケーキを食べま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
5	昨日は、放送をかけま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
6	明日は、歯をみがきま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
7	昨日は、手紙を書きま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
8	明日は、体育をしま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。

図4 朝自習④

月 日 () 名前	
正しい方に○をつけましょう。	
例	昨日は、テレビを見ま <input checked="" type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
例	明日は、そうじをしま <input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> す。
1	明日は、ピアノを弾きま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
2	昨日は、ケーキを食べま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
3	昨日は、放送をかけま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
4	明日は、歯をみがきま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
5	昨日は、手紙を書きま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。
6	明日は、体育をしま <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> す。

図5 朝自習⑤

(2) 朝、登校後 8:20分まで (約15分間) に、パソコンソフトを使用する

・使用したソフト：「五味太郎 言葉図鑑 うごきのことば」

※五味太郎監修・制作の絵本「言葉図鑑 ことばがいっぱい 1 うごきのことば」の CD-ROM 版

・ソフトの概要：自分のロボットとコンピューター操作のロボットが対戦する

アニメーションとことばが4つ文字や音声で示され、お互い正解を選ぶ
5問出題され、多く正解した方が勝ち (引き分けもあり)

最初の週はすぐにやめていたが、すぐに席に着き意欲的に楽しむようになった。また、最初の頃はほとんど間違えていたが、2ヶ月ほど経つと、相手のロボットに勝つことも増えた。

正解すると「やったー」と喜び、間違えると「ありゃー」「おいしい」などと言っていた。

正解が多くなるにつれて、相手のロボットに勝つと、著者と手を合わせて喜ぶようになってきた (写真1)



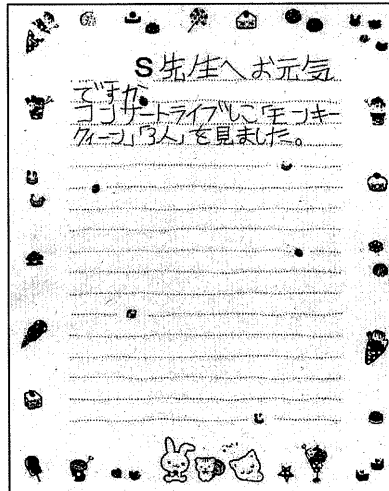
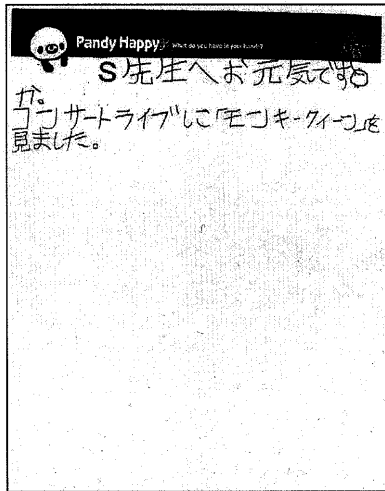
写真1 やったーと手を合わす

7. 評価と今後の課題

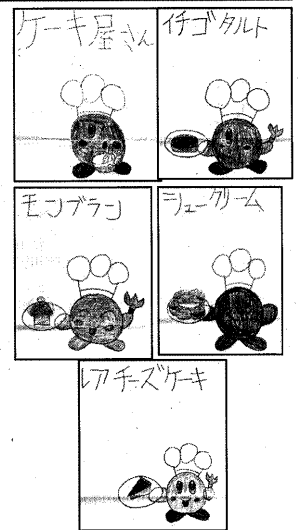
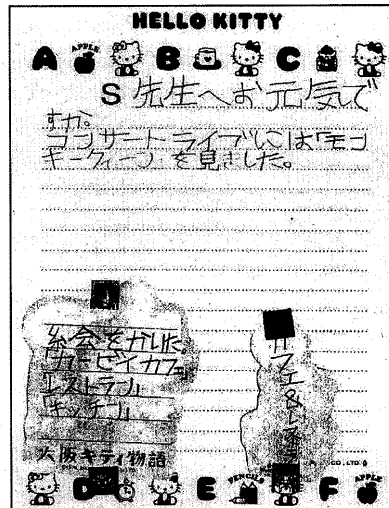
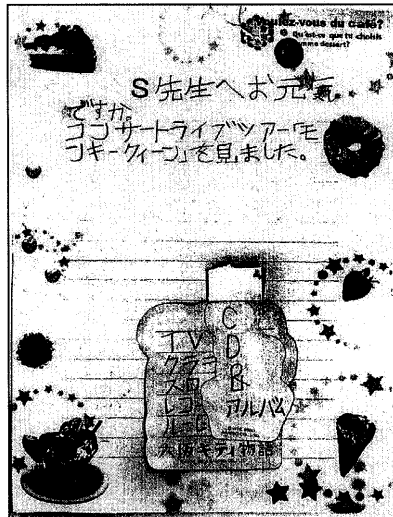
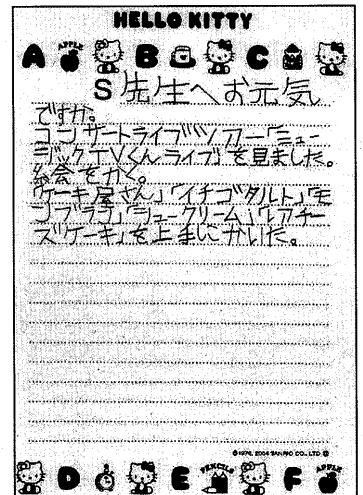
(1) 手紙の内容の変化

指導前は、もらった相手が良く分からない単語を並べた文を短く書いてあるだけで、助詞の表記に誤りがあったり文節の順序がバラバラだったりしていたが、ことばの朝自習を始めてからは、少しずつ長い文が増え、〈ありゃー〉といった気持ちを表すことばや〈上手に〉といった修飾語が入るようになり、ストーリー性のある絵が入っていることも増えた。何人もの教師から「文が分かりやすくなってきた」「変化してきた」と言う感想を言われ、他の教師への手紙からも変化をうかがうことができた。

指導前

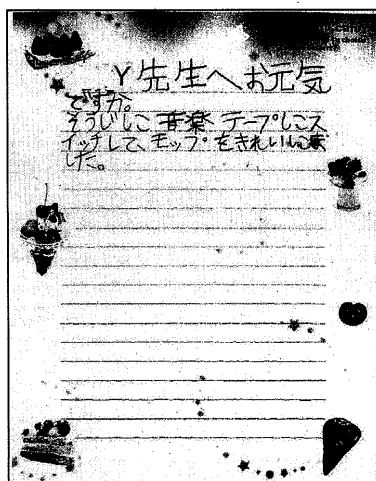


指導後

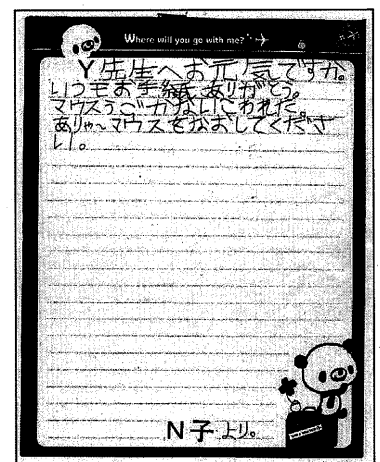


<手紙例1 S教師宛（作業：製菓班担当）>

指導前



指導後



<手紙例2 Y教師（著者）宛（クラス担任、掃除の担当）>

(2) 著者とのコミュニケーションのもち方の変化

好きなパソコンを使っているためか、「言葉図鑑」にとっても積極的に取り組んでいた。表情も豊かで、「嬉しい」「悔しい」などの言葉や表情と気持ちが一致しているように思われた。また、N子が著者と手を合わせて喜ぶようになるなど、著者とのコミュニケーションのもち方が、ことばや手紙を使うものから広がりより正確になってきたように感じられた。パソコンのマウスの調子が悪く「言葉図鑑」ができなかった日には、ことばと手紙の両方でN子の「直して下さい」と言う要求がきちんと著者に届き、伝わった。

掃除の放送をかけるために鍵を開けてもらうときに、その場で叫ばずに著者を呼びに来るように指示すると、探しに来るようになってきた。N子が著者の指示を以前より受け入れるようになり、著者の意図を伝えやすくなってきた。

(3) 今後の課題

今までは、N子が鍵を開けてもらうときに「先生、鍵」と叫ぶなど、2語文で声を出せば要求を出していることは他者に伝わっていた。最近は著者を呼びに来るようになってきたため、改めて何を伝えたいか言い直しをしてもらうと「○○先生、鍵を開けてください」と言うことができた。今後は朝自習プリントで会話文を取り上げていき、文章だけでなくことばによる要求の伝え方が、今後社会に出ても通用するような内容になっていけばよいと考えている。

8. おわりに

自立活動に取り組みを朝自習などの時間を利用することは、スモールステップで毎日少しずつ積み重ねることができること、1回が短時間のためお互いにあまり負担とならないことなどのメリットが上げられる。内容の精選は重要であるが、今後も大いに活用していきたいと考えている。

<参考文献、資料等>

- ・五味太郎言葉図鑑 うごきのことば (1998). インターチャネル
- ・五味太郎監修・制作(1985). 言葉図鑑 ことばがいっぱい1 うごきのことば. 偕成社